

リチウムイオン電池 と 発火事故

リチウムイオン電池は、大容量の電力を蓄えることが可能で、繰り返し充電ができ、様々な製品で使われています。

便利なりチウムイオン電池ですが、衝撃を加えると発火するという性質があり、リチウムイオン電池を原因とする発火事故が多発しています。

ごみとしてクリーンパーク北但にリチウムイオン電池内臓製品を持ち込まれる場合には、次の点を必ず守ってください。

製品から電池を取り外せる場合は、取り外し、乾電池類と一緒に出す

製品から電池を取り外せない場合は、製品を透明な袋（中身のわかるもの）に入れ、他のごみと分けて出す

製品例



スマートフォン



ひげそり機



電動歯ブラシ



充電式掃除機



ゲーム機



デジタルカメラ



電子タバコ

ごみステーションに出される場合

豊岡市

充電式電池内臓製品は、乾電池と一緒に透明袋に入れる。
充電式電池が容易に取り外しできる場合は、充電式電池のみを乾電池類の袋に入れる。

香美町

乾電池同様、中身のわかる袋(レジ袋等)に名前を書いて排出する。

新温泉町

「電池・刃物・工具類」のカゴに入れる。

参考情報

(公財)日本容器包装リサイクル協会



リチウムイオン電池等の発火物が原因になる発煙・発火トラブル